

● 調査の概要

● 調査の概要

この『生活状況に関する実態調査』では、北九州市民の生活状況等について調査を実施し、北九州市内のひきこもり等の状態にある方の実態及び当事者のニーズを把握、これまでの市の取組みの評価や今後の支援のあり方を検討するための基礎資料とすることを目的とする。

広く本市の実態を把握することを目的とし、北九州市住民基本台帳データから無作為抽出した15歳から64歳までの市民5,000人（調査対象者）とその20歳以上の同居者を対象とした調査（調査①）を実施する。

また、ひきこもり状態にある方の実態及び当事者のニーズを把握するため、ひきこもり等支援機関が関わっている15歳から64歳までの現在または過去にひきこもり状態を経験している本人（北九州市在住者）、現在または過去にひきこもり状態を経験している15歳から64歳までの本人の20歳以上の家族で、ひきこもり等支援機関が関わっている家族（本人、家族共に北九州市在住者）を対象とした調査（調査②）を実施する。

